

静岡県緑化推進計画

【取組個票・管理指標編】

静岡県緑化推進計画では、計画に掲載した取組のうち主なものについて取組個票を作成するとともに、管理指標を設定して、進捗を管理します。

【取組個票・管理指標編】は、取組の進捗状況、上位計画や関連する計画の策定（改定）、社会経済情勢の変化等に対応して、取組の内容、スケジュール等を柔軟に見直していくため、本編と分けて作成しています。

目次

1 主な取組 個票・平成30年度評価シート

2

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名	ページ
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーンバンク	2
	2	花の都づくり	経済産業部 農芸振興課	4
	3	花育活動	静岡県グリーンバンク	6
	4	里山学習施設の保全	くらし・環境部 環境ふれあい課	8
	5	森林環境教育プログラムの提供	くらし・環境部 環境政策課	10
	6	しずおか棚田・里地くらぶ	経済産業部 農地保全課	12
	7	ふじのくに色彩・デザイン指針	交通基盤部 景観まちづくり課	14
	8	豊かな暮らし空間創生	くらし・環境部 住まいづくり課	16
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、管理支援	静岡県グリーンバンク	18
	10	芝生アドバイザーの育成・活用	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	20
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	22
	12	工場緑化セミナー	経済産業部 企業立地推進課	24
	13	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持	交通基盤部 公園緑地課	26
(3) 花と緑による おもてなし空間の創造	14	花と緑のおもてなし空間整備支援	静岡県グリーンバンク	28
	15	公共施設の緑化	各部 県営施設所管課	
		(県庁本庁舎)	経営管理部 管財課	30
		(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)	文化・観光部 文化政策課	32
		(日本平夢テラス)	文化・観光部 観光政策課	34
	16	県立森林公園アカマツ林再生	くらし・環境部 環境ふれあい課	36
17	多様な森林景観づくり	経済産業部 森林整備課	38	
(4) 花と緑があるまちの 魅力の向上と発信	18	さくら愛護思想普及の推進	静岡県さくらの会	40
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	42
	20	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール	経済産業部 農芸振興課	44
(5) 社会総がかりの 緑化活動への参加促進	21	しずおかアダプト・ロード・プログラム	交通基盤部 道路保全課	46
	22	リバーフレンドシップ制度	交通基盤部 河川企画課	48
	23	ふじのくに美農里プロジェクト	経済産業部 農地整備課	50
	24	一社一村しずおか運動	経済産業部 農地保全課	52
	25	森づくり県民大作戦	くらし・環境部 環境ふれあい課	54
	26	しずおか未来の森サポーター	くらし・環境部 環境ふれあい課	56
	27	ふじのくに森の防潮堤づくり	経済産業部 森林保全課	58
(6) 緑化活動の核となる 人材の育成	28	緑化コーディネーターの育成・活用	静岡県グリーンバンク	60

2 管理指標

62

緑化推進計画 事業個票

取組番号	1					
事業・取組名	緑化資材の提供					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	花の会、町内会、老人会等の地域の団体が緑化ボランティア活動として、身近に利用されている学校、公園、公民館等の公共施設の緑化活動を行うことに対して、緑化資材を無償配布し、街ぐるみの緑化を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○定期配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町を通じて、年2回、緑化活動団体に草花の種子、球根、緑化木苗木等の緑化資材を提供する。 <p>○定期配布方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内産苗の活用など市町が推進する地域の個性を活かした緑化施策を支援するため、緑化資材配布のあり方を検討する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
定期配布事業						
定期配布方法の検討		配布方法を見直し				

評価シート

取組番号	1		
事業・取組名	緑化資材の提供		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
概要	<p>花の会、町内会、老人会等の地域の団体が緑化ボランティア活動として、身近に利用されている学校、公園、公民館等の公共施設の緑化活動を行うことに対して、緑化資材を無償配布し、街ぐるみの緑化を支援する。</p>		
平成30年度の実績			
<p>○ 実施箇所の近隣住民2名以上で構成される地域の団体に対し、支店となっている市町を通じ、春・秋の2回緑化資材の配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配布の状況は以下のとおり。 ツツジ734本、サツキ799本、サクラ2,105本、その他3,394本 球根779,505球、種子296リットル 配布延べ団体数 4,633団体 			
今後の予定			
<p>○ 街ぐるみの緑化を支援していくため、継続して事業に取り組む。 ○ 地域の個性を活かした緑化施策を支援するため、支店となっている市町等の意見を聴き、事業に取り入れていく。</p>			
参考			
緑化資材の配布(市町経由)	配布した緑化資材を活用した緑のカーテン		
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	2					
事業・取組名	花の都づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農芸振興課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	地域や企業等での花や緑の利活用の推進や若い世代への花への関心を高めることにより、花の都づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・花や緑の活用を推進する「花の都しずおかアドバイザー」を地域や学校等に派遣し、地域の緑化や花育を推進する。 ・花緑コンクールを開催し、地域や学校等による花のある安らぎのある空間を広める。 ・「お花自慢の職場宣言」事業所を募集し、その取組をホームページや冊子等で広報し、企業での花緑の利活用を促進する。 ・高校生等を対象とするフラワーデザインコンテストを開催し、若い世代の花への関心を高める。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
「お花自慢の職場宣言」事業所の拡大	■■■■■					
フラワーデザインコンテストの開催	■■■■■					

評価シート

取組番号	2		
事業・取組名	花の都づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農芸振興課
概要	地域や企業等での花や緑の利活用の推進や若い世代への花への関心を高めることにより、花の都づくりを推進する。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等における「花育」活動や、地域、企業、市町等が実施する園芸教室や体験教室、講演会等に「ふじのくに花の都しずおかアドバイザー」を講師として派遣し、これに係る経費の一部を負担する「花緑出張サービス」を実施した。平成30年度実績 68件 ・ 花壇やオープンガーデン、オフィス、飲食店、学校、街づくりなどの暮らしの様々な場所の花・緑の装飾に関わる「花緑コンクール」を開催し、優良な事例を広く紹介することにより、花の活用を推進した。平成30年度応募実績 71件 ・ 花や緑を活用している事業所を「お花自慢の職場宣言」事業所として募集し、その取組等をPRしている。平成30年度実績 宣言事業所数 68社・団体(累計) ・ 高校生等の若い世代を対象とした花文化を担う人材育成と花への関心の向上を目的に“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト2019を開催した。 各部門実績 フラワーアレンジメント部門 28名、ミニガーデン部門 8チーム、フラワーパフォーマンス部門 5チーム、フォト部門 191点 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広く県民を対象に、花育活動、花や緑に親しむ機会を提供するため、引き続き事業を実施していく。 			
参考			
<p>“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト2019の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ミニガーデン部門</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>フラワーアレンジメント部門</p>  </div> </div>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	3					
事業・取組名	花育活動					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	子どもたちが、自分の手で土や苗を触る体験を通して、緑との関わりや優しい心を育む「花育教室」の開催を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○未就学児童対象の花育教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士を対象に、花育の技術、知識を学ぶ指導者養成研修会を実施する。 ・指導者養成研修を修了した保育士が指導者となって、保育園・幼稚園の園児に花育教室を実施する。 ・花育教室未実施の市町の保育園等を対象に、直接講師を派遣して花育教室を実施する。 <p>○小学生対象の花育教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした花育教室の実施を検討する。 <p>○小学校・中学校の活動実績情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部活動などで取り組んでいる学校緑化や地域学習の活動事例を収集する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
未就学児童対象の花育教室			— — —	— — —	— — —	— — —
小学生対象の花育教室	内容を検討		— — —	— — —	— — —	— — —
小学校・中学校の活動実績情報収集						

評価シート

取組番号	3		
事業・取組名	花育活動		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
概要	子どもたちが、自分の手で土や苗を触る体験を通して、緑との関わりや優しい心を育む「花育教室」の開催を支援する。		
平成30年度の実績			
<p>○ 未就学児童を対象とした「花育教室(寄せ植え教室)」の実施を希望する幼稚園・保育園等に対して、「指導者養成研修」とその指導者による「花育教室」の2段階で支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花育教室実施を希望する幼稚園・保育園等の保育士等を対象に、「花育教室」を実施するための技術・知識を学ぶ指導者養成研修会を実施した。県内10会場で、167人の指導者を養成した。 ・ 研修会を修了した保育士等が指導者になり、149園、園児5,262人を対象に「花育教室」を実施した。 			
今後の予定			
<p>○ 子ども達の花や緑に親しむ機会を増やすため、継続して事業に取り組む。</p> <p>○ 未就学児童より上の世代を対象とした花育教室の実施を検討していく。</p>			
参考			
「花育指導者養成研修」		「花育教室」	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	4					
事業・取組名	里山学習施設の保全					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	<p>「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等により、豊かな自然や生物多様性などを、安全に体験するための環境を整えている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、歩道の補修、トイレ管理(毎年度) ・枯れ木の除去、森林の整備、施設の修繕(状況に応じて) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
里山学習施設の維持管理						

評価シート

取組番号	4		
事業・取組名	里山学習施設の保全		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
概要	「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等により、豊かな自然や生物多様性などを、安全に体験するための環境を整えている。		
平成30年度の実績			
<p>○ 遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈りや遊歩道整備のほか、鋭いトゲを持つ外来植物(ワルナスビ)が増えていることから、駆除活動とともに、除草剤の葉面への塗布など、効果的な駆除方法の試験を行った。 ・ 構造上の不具合の多発に加え、部品の生産終了などにより修理不可能となったバイオトイレを一部簡易水洗式に改修し、利用環境を向上した。 ・ 平成30年9月末の台風の影響で、倒木や幹折れなどが発生したことから、危険木の除去を行った。 <p>○ 榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈りや遊歩道整備のほか、谷津田の天地返しなどの里山環境の保全を実施した。 			
今後の予定			
<p>○ 遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生等が自然とふれあう機会の充実に向けて、CSR活動に積極的な企業の参画を呼び掛けながら、ハード、ソフトの整備に取り組んでいく。 <p>○ 榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水路上に設置した遊歩道、階段等の木製部材の劣化が激しい施設について修繕を行い、利用者の安全を確保する。 			
参考			
<p>また、かやねずみのはらっぱにおいてワルナスビ除去のための実験を行っていましたが、9月からは、園内で順次、除草剤（ラウンドアップ）の散布を始めました。6日はトイレ近く、16日にはパークウェイ側駐車場の周りで散布を行い、経過を観察していきます！</p>   			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	5					
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境政策課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>県営の「里山体験学習施設 遊木の森」や「榛原ふるさとの森」において、豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供します。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○ しずおか里山体験学習施設「遊木の森」 森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供するとともに、プログラムの補助を行いながら森林環境教育の指導に必要な知識や技術を習得する指導者のOJT研修(人材育成)を実施する。</p> <p>○ 「榛原ふるさとの森」 身近な自然環境を活用した環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
森林環境教育プログラムの提供						

評価シート

取組番号	5		
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境政策課
概要	<p>県営の「里山体験学習施設 遊木の森」や「榛原ふるさとの森」において、豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供します。</p>		
平成30年度の実績			
<p>○しずおか里山体験学習施設「遊木の森」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、幼稚園や保育園、学校等の21団体、1,982人に対して、森林環境教育プログラムを実施し、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会の提供を行った。 <p>○「榛原ふるさとの森」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然環境を活用した環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、幼稚園や保育園、学校等の12団体、666人を対象に、森林環境教育プログラムを実施し、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会を提供した。 			
今後の予定			
<p>○地域における環境教育の推進のため、継続して事業に取り組み、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会を提供する。</p>			
参考			
This area is intentionally left blank in the original document			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	6					
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農地保全課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	農業者の高齢化と後継者不足から棚田・里地の保全管理が困難になっている地域にボランティアやアドバイザーを派遣し、棚田・里地の維持・管理を目的とした保全活動、活性化及び組織の支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○草刈り・復田・田植え等の保全活動を支援するため、くらぶのニュースレターやFacebook等で広く活動ボランティアを募り、県民に棚田・里地での活動に参加してもらう。</p> <p>○専門的な知識を有するアドバイザーを保全団体に派遣し、活動支援を行う。</p> <p>○棚田や里地の有する多面的機能の維持向上及び保全の必要性をPRするため、広報誌「里風通信」を発行する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
棚田・里地で活動するボランティアの募集						
活動団体・地域へのアドバイザー派遣						
広報誌「里風通信」の発行	●年2回発行					

評価シート

取組番号	6		
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地整備課・農地保全課
概要	<p>農業者の高齢化と後継者不足から棚田・里地の保全管理が困難になっている地域にボランティアやアドバイザーを派遣し、棚田・里地の維持・管理を目的とした保全活動、活性化及び組織の支援を行う。</p>		

平成30年度の実績

- ・ しずおか棚田・里地くらぶ会員に対して、年5回ニュースレターを発行し、各棚田の活動予定や活動報告等について、情報発信を行った。
(会員内訳:個人347、法人6社、学校8校、アドバイザー(個人)8名、アドバイザー(団体)3団体)
- ・ 県HPやFacebook等を通じて、県民に対して、広く活動ボランティアを募った。
- ・ 静岡県の棚田や里地の魅力を全国に発信するため、松崎町と協働により「エコプロ2018」に出展した。
- ・ 企業や学校等団体と棚田保全活動に取り組む地域との協働活動事例を紹介する情報誌「里風通信」を2回発行し、棚田や里地の有する多面的機能の維持向上及び保全の必要性をPRした。

今後の予定

- ・ ニュースレターやHP、Facebook、里風通信の発行を通じて、くらぶ会員の募集や、棚田や里地の有する多面的機能の維持向上及び保全の必要性をPRを行う。

参考

ニュースレターの発行

「エコプロ2018」への出展



緑化推進計画 事業個票

取組番号	7					
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		景観まちづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	公共施設の整備に際して、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき、景観に配慮した美しい緑化のデザインに努める。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○地域景観を大きく印象付ける社会インフラの整備において、県の公共事業における景観形成の指針である「ふじのくに色彩・デザイン指針」に基づいた樹木の保全や花木の活用等を推進することにより、地域緑化の先導的役割を担う。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
ふじのくに色彩・デザイン指針の活用						

評価シート

取組番号	7		
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	景観まちづくり課
概要	公共施設の整備に際して、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき、景観に配慮した美しい緑化のデザインに努める。		
平成30年度の実績			
<p>○ 国の道路デザイン指針の改定、ふじのくに景観形成計画の策定等を踏まえ、「ふじのくに色彩・デザイン指針」を7月に改定した。</p> <p>→ 緑化に係わる主な改定(追加)内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本事項として、素材のもつ特性を活かすこととし、必要の無い限り、擬木や擬石は使用しないこととした。 ・ 新たに堤防を項目化して、周辺景観と調和するデザインの留意事項を整理し、法面緑化等を推奨することとした。 			
今後の予定			
○ 引き続き「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や景観の専門家による景観検討の研修会を開催し、県職員の景観形成に対する意識を啓発するとともに運用の徹底を図り、高質な公共空間を形成していく。			
参考			
・擬木について		<p>素材色風であるが、質感は異なる</p>	 <p>時間とともに違和感が増大 経年変化による劣化は見苦しい</p>
・堤防について		<p>階段による分即と法面緑化により、長大な印象や圧迫感が軽減されている。</p>	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	8					
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生					
部局名/団体名	くらし・環境部		担当課		住まいづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成		<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働		<input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他	
概要	生活と自然が調和した住まいづくり・まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図る。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○「豊かな暮らし空間」を実現した住宅地の普及・啓発を図るため、住民が共同で利用できる公園や庭の緑化など一定要件を満たした住宅地の計画を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定し、冊子・ホームページへの掲載や見学会の開催等により県民や住宅関係事業者等に広く情報を発信する。</p> <p>○「豊かな暮らし空間」の実現に向け、住宅関係事業者等に対してアドバイザーを派遣するほか、内陸フロンティア推進区域内における「豊かな暮らし空間創生住宅地」の整備に対して重点的に支援する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
豊かな暮らし空間創生住宅地の認定						
アドバイザー派遣						
内陸フロンティア推進区域内における住宅地整備に対する支援						

評価シート

取組番号	8		
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
概要	生活と自然が調和した住まいづくり・まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図る。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「豊かな暮らし空間創生住宅地」に「三島塚原優良田園住宅 桜郷里」(三島市塚原新田)1地区70区画を新たに認定した。 ・ 「豊かな暮らし空間創生住宅地」の普及・啓発のため、アドバイザーを招き、平成29年度に認定した「あしたの杜」(富士市川成島)99区画の完成見学会等を実施した。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業訪問等を行い、認定制度の周知とともに新たな住宅地の掘り起こしを図る。 ・ 豊かな暮らし空間創生推進協議会と連携し、完成見学会や実務研修会を開催する。 			
参考			
<p>三島市「三島塚原優良田園住宅桜郷里」完成イメージ図</p> 			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	9					
事業・取組名	芝生地の普及支援、管理支援					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	園庭・校庭や運動公園への芝生の導入を推進するとともに、既存の芝生地の維持の支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○住民参加による園庭等芝生緑化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園などの園庭、学校の校庭、地域の公園、スポーツ広場などの芝生化を住民参加で実施するための資材や管理備品の購入経費を支援する。 <p>○芝生管理活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体が行う公園、緑地などの芝生地を維持管理するための経費を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
住民参加による園庭等芝生緑化支援						
芝生管理活動支援						

評価シート

取組番号	9		
事業・取組名	芝生地の普及支援、管理支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
概要	園庭・校庭や運動公園への芝生の導入を推進するとともに、既存の芝生地の維持の支援を行う。		
平成30年度の実績			
<p>○ 園庭、校庭、地域の公園、スポーツ広場などを、住民参加で芝生化する団体に対して、芝生化を実施するための資材や管理備品の購入経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は、天城湯ヶ島コミュニティ複合施設(伊豆市)、金時公園(小山町)、駿河台幼稚園(藤枝市)、ゆりかご保育所(焼津市)、島田市立川根小学校、浜名幼稚園(浜松市西区)の6箇所に支援を実施し、3,792㎡の芝生化を行った。 <p>○ 公園、緑地、園庭・校庭などにある既存の芝生地の維持のため、地域の芝生地を維持管理している団体に対して経費の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は、33団体に対して支援した。 			
今後の予定			
<p>○ 芝生の普及のために、継続して事業に取り組む。</p> <p>○ 園庭等への普及が進んでいない市町に対して、重点的に働きかけを進めていく。</p>			
参考			
園庭・校庭、公園等の芝生化			
			
天城湯ヶ島コミュニティ複合施設(伊豆市) (左:6月10日、右:8月14日)			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	10					
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	芝生の知識を持った専門家を育成するとともに、芝生の専門家を各地域に派遣し、設置した芝生の適切な維持管理を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○芝草管理講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生の育成・管理に関して専門的な指導ができる人材を育成する芝生管理講座を開催する。 <p>○人材バンクの設置・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生アドバイザーの要件を定め、人材バンクを設置する。 ・芝草管理講座の修了生や造園業などの専門家を、芝生アドバイザーとして認定し、人材バンクに登録する。 <p>○芝生アドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での芝生の育成・管理に関して、芝生アドバイザーなどの専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝草管理講座の開催						
人材バンクの設置・活用	設置			登録・活用		
専門家の派遣を支援						

評価シート

取組番号	10		
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課	
概要	芝生の知識を持った専門家を育成するとともに、芝生の専門家を各地域に派遣し、設置した芝生の適切な維持管理を支援する。		
平成30年度の実績			
<p>○ 芝草研究所と静岡県グリーンバンクが共催し、芝生の専門的な知識を得るための「芝草管理講座」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝草研究所を会場に、延べ3日間の研修を行い21人が修了した。 <p>○ 芝生の育成・管理に関してアドバイスを行うため、専門家の派遣を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県グリーンバンクでは、当年度に芝生化実施箇所専門家を派遣している。平成30年度からは、当年度箇所に加え、過去に芝生化した箇所への派遣も行い、12箇所に延べ100回派遣を行った。 ・ 芝草研究所では、幼稚園・保育園、学校、スポーツ広場などからの相談に応じ、約20箇所に対して指導を行った。 			
今後の予定			
○ 既存芝生地適切な管理のため、専門的な知識を持った人材の育成及び専門家の派遣を継続していく。			
参考			
芝草管理講座			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	11					
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発					
部局名/団体名	芝草研究所			担当課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
概要	身近で使いやすい芝生地拡大のため、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○芝種の選定と管理手法の確立 身近で使いやすい芝生の普及のため以下の課題の研究を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツでの使用に耐える耐踏圧性の高い芝種の選定 ・日陰になる時間が多くても育成し管理の手間やコストが低い芝種の管理手法 ・常緑だが夏季の管理が難しい寒地型芝草の夏季に強い品種の選定 ・ノシバ・コウライシバをベースとする芝生の常緑化のためのウィンターオーバーシード（WOS）方法 等 <p>○外部評価の実施 研究の成果がより高いものとなり、成果を迅速かつ効果的に社会還元するため、外部評価委員会において研究内容の評価を行う。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝種の選定と管理手法の確立						
日陰でも育成しやすい品種の管理手法確立	生育試験		成果	普及		
スポーツでの使用に耐える品種の選定	収集		生育試験		成果	普及
長い期間常緑性を維持する品種の選定、手法の確立			収集、生育試験			成果
外部評価の実施	●	●	●	●	●	
外部評価を受け適宜研究内容を見直し						

評価シート

取組番号	11		
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発		
部局名/団体名	芝草研究所	担当課	
概要	身近で使いやすい芝生地拡大のため、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立する。		
平成30年度の実績			
<p>○ 身近で使いやすい芝生の普及のため、用途に応じた芝種の選定と管理手法の研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日陰になる時間が多くても育成する芝種(セントオーガスチン)の管理手法の調査のため、県立森林公園(浜松市浜北区)、吉田特別支援学校を場外ほ場として活用し耐寒性や雑草との競合性などの研究を行った。 ・ スポーツでの使用に耐える耐踏圧性の高い芝種の選定のため、品種の収集を行った。 <p>コウライシバをベースとするウインターオーバーシード(WOS)方法について、寒地型芝草の播種量を変更するなどして比較調査を行った。</p> <p>○ 平成30年10月22日に外部評価委員会を実施した。</p>			
今後の予定			
<p>○ 日陰になる時間が多くても育成する芝種を活かした芝生化箇所を増やし、活用例を蓄積していく。</p> <p>○ 次回の外部評価委員会は令和2年度に実施する。</p>			
参考			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	12					
事業・取組名	工場緑化セミナー					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		企業立地推進課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	工場緑化に係る本県理念の浸透を図るため、緑化セミナーを開催する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○産業振興と自然環境の調和の実現を図るため、地域の実情に合わせた緑地面積率等の見直しを行う県条例を平成27年10月に施行した。条例に盛り込まれた工場緑化に係る本県理念の浸透を図り、県全体で質の高い工場緑化を実現するため、市町と協働で、緑化セミナーを開催する。</p> <p>○工場立地法の改正により、緑地面積率等の見直しを行う条例の制定権限が全市町村に移譲されたため、今後、市町が地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、助言していく。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
緑化セミナーの開催	■■■■■					
市町への助言	■■■■■					

評価シート

取組番号	12		
事業・取組名	工場緑化セミナー		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	企業立地推進課
概要	工場緑化に係る本県理念の浸透を図るため、緑化セミナーを開催する。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の企業、県内市町の担当者向けに、先進的な工場緑化を実施している企業の視察を実施した。 ・ 地域特性にあった緑化や工場敷地の有効活用としての駐車場兼用緑地の整備など、質の高い工場緑化の取組みを見学し、工場緑化に係る本県理念の浸透を図った。 <p>(企業:16社21名、市町:6市町7名、県:4名 計33名)</p>			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に引き続き、本県の工場緑化の先進事例を視察し、工場緑化に係る本県理念の浸透を図る。 			
参考			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	13					
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		公園緑地課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	県営都市公園内の多目的競技場等運動施設における芝生の維持管理を指定管理者が定期的に行うことにより、常に芝生を良好な状態に保ち、運動施設の快適な利用を促進し芝生自体の長寿命化を図っている。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮し、芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布などを実施し、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つ。</p> <p>【参考】H29年度 年間計画 (愛鷹広域公園年間計画) 芝刈 20回/年、灌水 30回/年、施肥 10回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など (草薙総合運動場年間計画) 芝刈 45回/年、散水 30回/年、施肥 5回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など (小笠山総合運動公園年間計画) 芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 25回/年 など</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝生の維持管理・張替え						

評価シート

取組番号	13					
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持					
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	公園緑地課			
概要	<p>県営都市公園内の多目的競技場等運動施設における芝生の維持管理を指定管理者が定期的に行うことにより、常に芝生を良好な状態に保ち、運動施設の快適な利用を促進し芝生自体の長寿命化を図っている。</p>					
平成30年度の実績						
<p>(愛鷹広域公園年間実績) 芝刈 20回/年、灌水 30回/年、施肥 10回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 (草薙総合運動場年間実績) 芝刈 45回/年、散水 30回/年、施肥 5回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 (小笠山総合運動公園年間実績) 芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 25回/年 いずれも当初計画どおり実施されている。これは当初計画が実態に即したものであったためと考えている。</p>						
今後の予定						
	項目	R1	R2	R3	R4	R5以降
	芝生の維持管理・張替え	→				
○ 芝生の状態は良好に保たれており、適切な計画であったと考えられるため、今後も計画に沿って取り組みを継続する。						
参考						

緑化推進計画 事業個票

取組番号	14					
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	多くの人々が行き交う駅前や観光地などに、地域らしさが光る「花と緑のおもてなし空間」を創造するため、おもてなし空間を整備する市町等に対して支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○おもてなし空間整備に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、おもてなし空間整備事業を実施する市町等に対し、助成を行う。 ・おもてなし空間の整備にあたっては、周囲の景観への配慮、花種の検討、維持管理の検討のため、専門家によるアドバイスを受けるものとする。 <p>○おもてなし空間を維持する団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし空間を整備・維持する団体が専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 ・おもてなし空間の維持のため、グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用して継続的な支援を行う。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
おもてなし空間整備に対する助成	—————					
おもてなし空間を維持する団体への支援						
専門家の派遣を支援	—————					
花材等の支援		グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用				

評価シート

取組番号	14		
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
概要	多くの人々が行き交う駅前や観光地などに、地域らしさが光る「花と緑のおもてなし空間」を創造するため、おもてなし空間を整備する市町等に対して支援を行う。		
平成30年度の実績			
<p>○ 地域のシンボルとなる花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、整備を実施する市町等に対し、助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、伊豆の国市、三島市、富士市、伊豆市の4箇所の新規整備に対して支援を行った。 <p>○ おもてなし空間の整備を図る市町等を支援するため、設計や植栽に関する専門家の活用に対して、助成を行った。</p>			
今後の予定			
<p>○ 花と緑のおもてなし空間が県内に広がるように、平成30年度整備箇所の取組を活用してPRし、事業を継続して取り組む。</p> <p>○ おもてなし空間の設置者が整備箇所を維持できるように支援を継続していく。</p>			
参考			
おもてなし空間整備箇所			
	← 伊豆の国市		← 三島市
	← 富士市		← 伊豆市

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)					
部局名/団体名	経営管理部		担当課		管財課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	・県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。 ・本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>経営管理部管財課(本庁舎所管所属)</p> <p>○来庁者等に対して「親しみやすい県庁」とするため、県庁本館(正面側)の窓辺に県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業で栽培した花プランターを設置する。</p> <p>・県下農業高校(11校)と農林大学校が栽培した花プランターを年5回に分けて設置する。</p> <p>・東館2階ロビーの設置場所及び本館正面案内板にて栽培学校や花種類を発信する。</p> <p>・ホームページ等で窓辺の花事業(学校栽培)の情報を発信する。 (管財課:県ホームページ、教委:フェイスブック) ※県ホームページは、本館工事終了後掲載予定。</p> <p>○来庁者への「おもてなし」として、東館2階ロビーや4階廊下コーナー、本館2階正面入口に植物(観葉・花)を設置する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県庁本館窓辺の花設置事業						
本庁舎環境美化事業						

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)		
部局名/団体名	経営管理部	担当課	管財課
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。 ・本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。 		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民に親しみやすい県庁とするため、また、県民の環境美化・緑化運動の啓発を図るため、県庁に草花を設置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の農業高校(11校)及び農林大学校に栽培を依頼し、本館正面窓辺等に草花を設置した。【本館2～4階の窓(80窓)、本館正面玄関等(1回あたり160鉢)に順次設置】 ・ 県内福祉施設(8施設)が栽培した花を本館玄関前に設置した。【各福祉施設から購入した30鉢を順次設置】 ○ 庁内における寄せ植え花の設置等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内の環境美化及び来庁者の「おもてなし」のため、高校や専門学校の協力も得ながら、本館2階案内所横や東館2階ロビーに寄せ植え花を設置するなどした。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在行っている取組を継続的に実施する。 ・ 東館2階ロビーのリニューアルにあたって緑化(花等)を充実させる。 			
参考			
			
窓 辺 の 花			
			
本 館 玄 関			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)					
部局名/団体名	文化・観光部		担当課		文化政策課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働		<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他			
概要	県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園における草木、緑地等の維持管理					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>県立美術館等の施設において、県の文化施設として訪れる方々に快適な空間を提供するよう、草木等の適切な維持管理を行っている。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
施設内草木等の維持管理						

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)		
部局名/団体名	文化・観光部	担当課	文化政策課
概要	県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園における草木、緑地等の維持管理		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 施設を訪れる方々に快適な空間を提供できるよう、各施設において樹木の剪定、芝生の管理、草刈り等を計画的に実施した。 枯れ木や強風による倒木の除去等も適切に行った。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。 			
参考			
＜グランシップ＞		＜県立美術館＞	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)					
部局名/団体名	文化・観光部		担当課		観光政策課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input type="checkbox"/> 普及啓発	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input type="checkbox"/> 広報	
	<input type="checkbox"/> 連携・協働		<input type="checkbox"/> その他			
概要	日本平夢テラス(前庭)の整備					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる、庭園のような空間として日本平夢テラス前庭を整備した。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
日本平夢テラス(前庭)の整備	<u>工事</u>					
樹木草花等の維持管理		<u>維持管理</u>				

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)		
部局名/団体名	文化・観光部	担当課	観光政策課
概要	日本平夢テラス(前庭)の整備		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる、庭園のような空間として日本平夢テラス前庭を整備した。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> 来訪者に快適な空間を提供するよう、樹木草花の適切な維持管理を行っていく。 			
参考			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	16					
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生					
部局名/団体名	くらし・環境部		担当課		環境ふれあい課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	<p>県立森林公園のアカマツ林は、県内でも希少な、まとまった面積の植物群落であり、公園のシンボルともなっている。</p> <p>松くい虫被害で減少してしまったが、長年継続してきた防除対策により、近年被害が収束しつつあるため、施設の再整備を契機に、保全から再生への転機となる「保全・再生指針」を策定し、アカマツ林の再生活動を始めている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○森づくりボランティアや企業等と連携したアカマツ林の保全・再生活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の遺伝子にも配慮し、落下種子由来のアカマツを育てていく。 ・活動団体は、随時募集し、各団体が年に1～2回程度下刈りなどを行う。 ・再生活動の実施時には、積極的に広報活動を行う。 <p>○アカマツ林再生に向けた調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業研究センターの協力を得て、調査を実施している。 (表土を掻き取った区と、草刈りだけ行った区のアカマツの成長を観察) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
アカマツ林の保全・再生活動						
アカマツ林の再生調査						
施設の再整備						

評価シート

取組番号	16		
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
概要	<p>県立森林公園のアカマツ林は、県内でも希少な、まとまった面積の植物群落であり、公園のシンボルともなっている。 松くい虫被害で減少してしまったが、長年継続してきた防除対策により、近年被害が収束しつつあるため、施設の再整備を契機に、保全から再生への転機となる「保全・再生指針」を策定し、アカマツ林の再生活動を始めている。</p>		
平成30年度の実績			
<p>○ アカマツ林再生活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアによる再生活動を2回開催し、県民ボランティアや、指定管理者など、合計41人が参加した。 			
今後の予定			
<p>○ 環境意識の高い企業の参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のCSR活動を森づくりにつなげる「しずおか未来の森サポーター制度」により、(株)アデランスが、アカマツ林再生活動への参画を決定。平成31年4月に県、(株)アデランス及び同社のCSRの企画運営を行う合同会社ツバルの森の3者で協定を締結。令和2年秋以降、活動を実施する予定。 ・ 今後も、一般県民や環境意識の高い企業に対し、参加を促していく。 			
参考			
		アカマツ林再生活動	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	17					
事業・取組名	多様な森林景観づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		森林整備課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働		<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他			
概要	国内外から多数の来訪者が見込まれる世界遺産富士山の構成資産や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場へのアクセス道路沿線等の森林整備を支援し、景観の向上を図る。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、本県を訪れる方のおもてなし等の新たな需要に緊急に対応するため、景観の改善や眺望の確保を図る森林景観整備を、「安全・快適の道」緊急対策事業等により実施する。</p> <p>○事業名:平成30年度「安全・快適の道」緊急対策事業費 ※平成26～29年度 しずおか林業再生プロジェクト推進事業費</p> <p>○対象森林:アクセス道路沿線やビューポイント周辺の森林 富 士:世界遺産富士山の構成資産へのアクセス道路沿線 伊 豆:世界遺産韮山反射炉や伊豆ベロドローム周辺及びアクセス道路沿線</p> <p>○実施内容:景観の改善や眺望の確保を目的とした、人工林の間伐や広葉樹の除去に対する支援</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
富士						
伊豆			●東京2020オリンピック・パラリンピック			

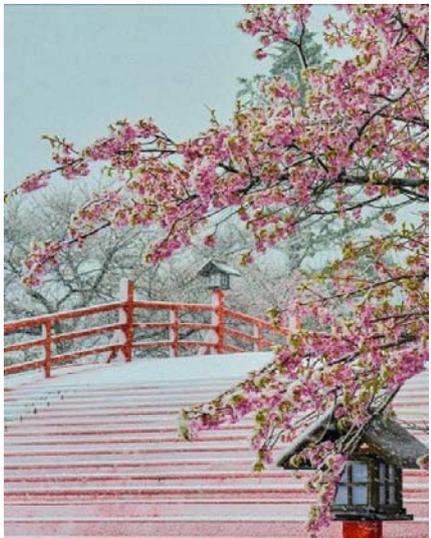
評価シート

取組番号	17		
事業・取組名	多様な森林景観づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林整備課
概要	国内外から多数の来訪者が見込まれる世界遺産富士山の構成資産や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場へのアクセス道路沿線等の森林整備を支援し、景観の向上を図る。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界文化遺産「韮山反射炉」へのアクセス道(伊豆の国市)や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場「伊豆ベロドローム」(伊豆市)へのアクセス道沿線の森林に加え、選手村へ通じる伊豆市道、伊豆スカイライン沿線、あわせて30haの修景伐を実施した。 ・ 世界文化遺産富士山の構成資産へのアクセス道路沿線において、21haの修景伐を実施した。 ・ 富士山の眺望を遮っていた樹木の伐採による美しい富士山の眺望景観の創出や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場への観客輸送ルート沿線の整備により、来訪する観客に、また訪れたいと思う森林景観の創出を図った。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手等関係者輸送ルートとなっている県道沿線や伊豆スカイライン沿線の森林及び東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレースコース沿線の森林を中心に、整備を進めていく予定である。 			
参考			
			
整備前		整備後	
伊豆スカイライン沿線			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	18					
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進					
部局名/団体名	静岡県さくらの会			担当課		
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	静岡県さくらの会ホームページにさくらの情報を掲載するとともに、さくら写真コンクールを開催し、国花である桜を県民に広く普及させる。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○ホームページでの桜情報の公開 県民が桜に親しむ機会を増やすため、県と市町が連携して県さくらの会ホームページに掲載している県内の桜の名所情報、開花状況等の情報提供を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各地にある桜の種類や開花時期がわかる、さくらマップを作成する。 ・富士山に見える桜名所情報を発信する。 ・ソメイヨシノ等春の桜の時期には、各地のさくら開花情報を毎日発信する。 <p>○さくら写真コンクール さくら愛護思想の普及と高揚を図るため、県内の桜を対象とした「さくら写真コンクール」を開催する。 入賞作品については誰でも利用できる環境を整え、チラシやポスターなどの広報媒体への活用要望があればすぐに提供できるように作品を管理することで、桜の美しさを県内外に広くアピールする。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
HPでの桜情報の公開						
	● さくらマップ作成					
さくら写真コンクール						

評価シート

取組番号	18		
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	
概要	静岡県さくらの会ホームページにさくらの情報を掲載するとともに、さくら写真コンクールを開催し、国花である桜を県民に広く普及させる。		
平成30年度の実績			
<p>○ 県民が桜に親しむ機会を増やすため、県さくらの会ホームページに掲載している県内の桜の名所情報、開花状況等の情報提供を充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リンク掲載のみだった「さくら名所情報(大井川～浜名湖編)」について、新たに名所46箇所の個別情報ページを作成し、公開した。 ・ 1月～3月の早咲き桜、3月下旬からソメイヨシノ等春の桜の時期に、各地のさくら開花情報を発信した。平成30年度は、早咲き桜(平成31年1月～)で23箇所(前年21箇所)、春の桜(平成31年3月下旬～)で72箇所(前年71箇所)の情報提供を実施した。 <p>○ 県内のさくらの魅力を広くアピールするため、「さくら写真コンクール」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は前年度と同じく、「静岡県内の桜」、「富士山と桜」の2部門で実施し、572点の応募作品の中から、計18点の入賞者を決定し、表彰した。 ・ 入賞作品は3箇所で巡回展示を行った。 			
今後の予定			
<p>○ 名所情報・開花状況は、会員となっている市町と協力して、情報の充実を図っていく。</p> <p>○ さくら写真コンクールは、より多くの参加者を得ることができるよう、募集を開始する時期や、コンクールの高校生や大学生への周知方法などを見直し、実施する。</p>			
参考			
<p>「さくら名所情報(大井川～浜名湖編)」個別情報ページサンプル</p> 		<p>平成30年度 さくら写真コンクール 最優秀作品「季節はずれの雪」</p> 	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	19					
事業・取組名	さくらの保護育成					
部局名/団体名	静岡県さくらの会			担当課		
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで、県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○さくら功労者の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で桜の愛護や植栽など、桜に関する著しい功績のある者を表彰する。 <p>○さくら相談員派遣事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の名所整備や桜の管理について、専門家による技術的な助言を行うことで、桜の保護や健全な育成を図る。 ・さくら相談員派遣される指導の場を桜に関する技術的な講習会として活用することで、市町担当者を中心に桜の保護育成に関する知識の周知を図る。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
さくら功労者の表彰						
さくら相談員派遣事業の実施						

評価シート

取組番号	19		
事業・取組名	さくらの保護育成		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	
概要	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで、県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励する。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内で桜の愛護や植栽など、桜に関する著しい功績のある者に対する表彰を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は、桜の保護や育成、普及に功績のあった1団体を表彰した。 ○ 桜の保護や健全な育成を図るため、桜の名所整備や桜の管理について、専門家を派遣し、技術的な助言を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は、桜名所の再整備計画に対する助言1箇所、桜の健全な育成に対する助言を6箇所を実施した。 ○ さくら保護士の更新を行い、これに合わせさくら保護士の活動実績の報告を制度化した。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民のさくら保護の自主的な活動の奨励を図るため、さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業に継続して取り組む。 ○ さくら保護士のスキルアップを図るため、さくら相談員派遣事業への参加を促していく。 			
参考			
<p>さくら相談員派遣事業</p> 			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	20					
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農芸振興課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	地域や学校等での花や緑の植栽や装飾に関するコンクールを開催し、花の都づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、企業、個人等を対象とした花緑コンクールを開催する。 ・花緑コンクールの優秀な取組について、表彰するとともに、冊子にまとめ、広報を行うことにより、花緑に関する取組の普及を図る。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
花緑コンクールの開催						

評価シート

取組番号	20		
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農芸振興課
概要	地域や学校等での花や緑の植栽や装飾に関するコンクールを開催し、花の都づくりを推進する。		
平成30年度の実績			
<p>○ 花壇やオープンガーデン、オフィス、飲食店、学校、街づくりなどの暮らしの様々な場所の花・緑の装飾に関わるコンクールを開催し、優良な事例を広く紹介することにより、花の活用を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集期間 平成30年6月11日(月)～11月2日(金) ・ 応募件数 71件 静岡県知事賞:計34点(最優秀賞6点、優秀賞12点、優良賞16点)の他、審査員特別賞2点を選定。 ・ 平成31年2月23日(土) 沼津市プラサヴェルデで行われた「ふじのくに食と花の都の祭典」内にて表彰式を行った。 			
今後の予定			
<p>○ 今年度も、暮らしの様々な場所での花・緑の装飾、花の活用を推進するため、事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集期間 令和元年6月7日(金)～11月1日(金) ・ 令和2年2月22日(土) 静岡市ツインメッセで行われる「ふじのくに食と花の都の祭典」内にて表彰予定。 			
参考			
<p>平成30年度 学校部門最優秀賞作品(掛川市立千浜小学校)</p> 			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	21					
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		道路保全課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	道路のある一定区間において、住民団体、学校、企業などの皆さんが、道路清掃や美化活動を行い、行政がこれを支援する。住民団体等と行政が互いに役割分担を定め、両者の協働のもと、美化を進める。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
○県庁、各土木事務所のHPにて周知。 ○市町にもHPや広報誌を用いて広く周知。						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
HP等で周知						

緑化推進計画 事業個票

取組番号	22					
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		河川企画課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発する					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要となる草刈機等の物品の貸与を行うとともに、必要に応じて軍手等の消耗品の支給を行うことで自立発展的な活動の支援を行う。 ・活動時の傷害・賠償責任保険契約を締結する。 <p>○身近な河川の治水や環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
物品等による河川愛護活動のための支援						
意識啓発のための広報活動						

評価シート

取組番号	22		
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	河川企画課
概要	<p>県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発する</p>		
平成30年度の実績			
<p>○ 河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リバーフレンドとして、H30年度は新たに26団体と同意書を締結した。 (H31年3月末現在で、617団体、延長約736kmで同意書を締結) <p>○ 身近な河川の治水や環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リバーフレンドシップ制度の内容を周知するため、パンフレットを作成し、県庁内の配架、土木事務所への配布を実施した。 			
今後の予定			
<p>○ リバーフレンド活動を通じて、地域で身近な河川環境の保全や治水対策に理解や関心を高め、河川行政全体への理解を深めていく。</p> <p>○ パンフレットやホームページ等を通じて、制度内容の周知を徹底し、リバーフレンド団体数の更なる増加を促す。</p>			
参考			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	23					
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農地整備課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	農業・農村の有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの様々な働き(多面的機能)を維持・発揮させるため、「ふじのくに美農里プロジェクト」により、農業者や地域住民による地域資源(農地・水路・農道等)を保全する共同活動への支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付し、活動の支援を行う。 ・活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)や、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)など、農村環境の保全のための活動に取り組む。 ・少子高齢化による農村地域の人手不足を改善し、活動の継続・拡大を図るため、地域内外に対する広報活動を積極的に行い、地域に潜在する多様な主体(農業者以外の住民、女性、障害者等)の参画や、地域外の都市住民との都市・農村間の交流を促進する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県HP等による活動事例の紹介						
記者提供による活動予定の広報						

評価シート

取組番号	23		
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地整備課
概要	農業・農村の有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの様々な働き(多面的機能)を維持・発揮させるため、「ふじのくに美農里プロジェクト」により、農業者や地域住民による地域資源(農地・水路・農道等)を保全する共同活動への支援を行う。		

平成30年度の実績

- ・ 農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付した。(H30活動組織数:235、交付対象面積:14,686ha)
- ・ 活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)や、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)など、農村環境の保全のための活動に取り組んでいる。
- ・ 農業者だけでなく農業者以外の参加や、地域内外の参画者・交流人口を増やすため、記者提供等による活動予定の広報を行った。
- ・ 昨年度創設された「関東農政局多面的機能発揮促進事業 局長表彰」において、富士宮市の活動組織が最優秀賞を受賞した。

今後の予定

- ・ 引き続き、記者提供等により、活動予定の広報を行っていく。
- ・ 表彰制度等を活用するなど、優良な活動・取組については、県内外へ周知すべく広報を行う。

参考

関東農政局長表彰受賞

組織の概要
 県営環境整備事業により大区画化された水田(平成農田)を中心に地域資源の安全管理や農村景観の向上等の活動に取り組んでいる。地域を走るウォーキングコースを企画し、ウォーキング大会を開催しているほか、種田を竹打で飾る「富士山白糸平成種田竹打祭り」など様々なイベントを開催し、地域の活性化にも貢献している。

環境保全活動
 ● 過剰な肥料の「カワノ」の夜間活動を実施。水質改善に寄与。環境を保護し、地域を元気にしよう。

都市農村交流活動
 ● 種田を竹打で飾る「種田竹打祭り」。種田を竹打で飾るウォーキングイベントを開催。環境を元気にしよう。

伝統文化の継承
 ● 小学校と連携し、地域発祥の和紙原料の栽培や紙漉き体験。「富士山流雲神社」に参拝する大しほの巻紙の製作の体験も実施。

企業との連携
 ● 地元の障害者を雇用している企業と連携し、遊休地の緑化活動を実施。農産物産出の向上にも貢献している。



景観形成(ひまわり畑)



耕作放棄地解消

緑化推進計画 事業個票

取組番号	24					
事業・取組名	一社一村しずおか運動					
部局名/団体名	経済産業部			担当課		農地保全課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	<p>農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を生かした双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、農山村と企業の要望を県がコーディネートする取組。</p> <p>平成30年1月末時点で34の農山村地域と39の企業団体が認定されている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○農山村と企業等とのマッチング・コーディネートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の保全や活性化に課題を持つ農山村と、環境改善や地域社会への貢献に関心の高い企業のマッチングを図るとともに、両者の活動をコーディネートすることで協働活動を推進する。 ・企業側へ事業周知を図るため、本事業実施によるメリット等を記載したパンフレット配布やイベント等でのPRを行う。 <p>○広報誌等による取組状況の紹介といった活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「里風通信」にて、「一社一村しずおか運動」に取組む「企業」と「農山村」の活動の様子の先駆的な優良事例を情報発信する。(年2回発行) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
農山村と企業等とのマッチングの推進	● 新規の活動取組み認定2件/年					
広報誌「里風通信」の発行	● 年2回発行					

評価シート

取組番号	24		
事業・取組名	一社一村しずおか運動		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
概要	<p>農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を生かした双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、農山村と企業の要望を県がコーディネートする取組。</p> <p>平成30年1月末時点で34の農山村地域と39の企業団体が認定されている。</p>		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> 新たに、一つ農山村と企業の取組が認定され、平成30年度までに35の農山村地域と40の企業団体を認定。 平成30年度は、協働により、草刈や農作物の植付け・収穫といった農地保全活動、桜の植栽等による地域の景観向上等の取組が行われた。 農山村と企業とのマッチングを推進するため、協働活動の方法や他の先駆的な優良事例を紹介する情報誌「里風通信」を2回発行し、PRを行った。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> 企業と農山村のマッチング推進のため、優良事例集の作成や研修会、交流会を開催する。 情報誌「里風通信」の発行(年2回)の他、県HPといったウェブを活用した情報発信を行う。 			
参考			
<p>一社一村しずおか運動 活動の様子</p> <p>水見色町内会(静岡市葵区)×中日本高速道路株式会社</p>		<p>里風通信の発行</p>	
			
<p>協働により河津桜を植栽</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	25					
事業・取組名	森づくり県民大作戦					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他		
概要	環境ふれあい課のホームページに、各森づくり団体が開催する森づくりイベントを掲載するとともに、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催し、県民総参加による森づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○県民が森づくり活動に参加できる機会を提供するため、森づくり団体等が開催する森づくりイベントを環境ふれあい課ホームページに掲載する。</p> <p>○森づくり活動への新規参加者を確保するため、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
HPでの森づくりイベントの情報発信	—————					
農林事務所主催イベントの開催	—————				

評価シート

取組番号	25		
事業・取組名	森づくり県民大作戦		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
概要	環境ふれあい課のホームページに、各森づくり団体が開催する森づくりイベントを掲載するとともに、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催し、県民総参加による森づくりを推進する。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 森づくり県民大作戦について、一般公募を行うイベントなどの情報を、環境ふれあい課ホームページに掲載したほか、春、秋の重点期間をお知らせするチラシを作成し、市町、図書館、スポーツ用品店などに配布した。 ○ また、平成30年度から、国際機関である“国連生物多様性の10年委員会”の連携事業に森づくり県民大作戦が選定され、同委員会のホームページへのイベント情報の掲載や、チラシへのロゴマーク使用により、PR効果を高めた。 ○ 各農林事務所において、森づくり県民大作戦として、7行事を開催した。 ○ 平成30年度の森づくり県民大作戦は、938行事が開催され、延べ28,271人が参加した。 			
今後の予定			
○ SDGsの取り組みや、地球温暖化防止との関連の高さなどを一層PRしていく。			
参考			
			
<p>2018ミス日本みどりの女神を迎え掛川市で植樹祭を開催</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	26					
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他		
概要	しずおか未来の森サポーター企業及びふじのくに森の町内会への参加企業数を増やすことが、森林整備及び緑化推進に寄与することから、広報や普及啓発により参加を促進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>(1)しずおか未来の森サポーター企業の参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の森づくり活動の県ホームページへの掲載やパンフレット作成による普及啓発。 ・表彰の実施による活動企業の取組に感謝の意を表し、更なる活動継続を促す。さらに表彰のPR効果により、新規企業への広報とする。 <p>(2)ふじのくに森の町内会への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報・普及啓発により森の町内会への参加を促進する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
しずおか未来の森サポーター企業の参加促進 (HP掲載、パンフレット作成)						
ふじのくに森の町内会への参加促進						
しずおか未来の森サポーター企業の表彰						

評価シート

取組番号	26		
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
概要	しずおか未来の森サポーター企業及びふじのくに森の町内会への参加企業数を増やすことが、森林整備及び緑化推進に寄与することから、広報や普及啓発により参加を促進する。		
平成30年度の実績			
<p>○ しずおか未来のサポーター企業は、新たに2社と協定を締結したことにより、平成30年度末で126社となった。</p> <p>○ 平成30年度から、長年優れた活動を継続しているサポーター企業に対する表彰制度を創設し、活動実績10年経過した企業への知事表彰(6社)及び活動実績5年経過した企業への知事褒章(7社)の授与式を行った。</p>			
今後の予定			
<p>○ 社会貢献活動に加えて、ESG投資やSDGs等、森づくりと関連の深い取り組みに関心のある企業等に対して、県外も含めて制度のPRを行い、森づくりへの参加を促していく。</p>			
参考			
		表彰式	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	27					
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		森林保全課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	遠州灘海岸で進めている「ふじのくに森の防潮堤づくり」を県民参加で推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○ふじのくに森の防潮堤づくりの実施にあたっては、県民との協働による海岸防災林の再整備を進めるため、地域住民や地元企業による植樹祭等を実施する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県民参加による植樹祭等の実施						

評価シート

取組番号	27		
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林保全課
概要	遠州灘海岸で進めている「ふじのくに森の防潮堤づくり」を県民参加で推進する。		
平成30年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掛川市では、平成30年5月12日に140人、平成30年5月26日に620人の県民が参加して植樹活動を実施し、平成10月13日には、250人の県民が参加し下刈りを行った。 ○ 袋井市では、平成31年2月17日に2箇所で総勢約100名の県民が参加して植樹活動を実施した。 ○ 磐田市では、平成31年3月23日に約500人の県民が参加して植樹活動を実施した。 			
今後の予定			
○ 今後も県民参加による植樹祭等を実施し、海岸防災林が地域にとって重要な施設であることの理解と、植栽木の維持・管理等への協力の意識の醸成を図る。			
参考			
掛川市における県民参加の植樹活動		磐田市における県民参加の植樹活動	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	28					
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(6)緑化活動の核となる人材の育成					
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	緑化の技術・知識などを持った、地域活動の核となる人材を育成するとともに、庭園デザインの専門家などを各地域に派遣し、緑化活動を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○緑化コーディネーターの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の緑化ボランティア研修の内容を一部見直し、緑化に関する複数の専門知識に加え、活動のマネジメント力を持ち行政や活動団体と連携を取りながら地域の緑化活動の核となって活動できる人材を育成する緑化コーディネーター養成コースを開催する。 <p>○人材バンクの設置・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化コーディネーターの要件を定め、人材バンクを設置する。 緑化コーディネーター養成コースの修了生や造園業などの専門家を、緑化コーディネーターとして認定し、人材バンクに登録する。 得意分野を明らかにした緑化コーディネーターの名簿を公表し、緑化コーディネーターの活用を促進し、活躍の場を提供する。 <p>○専門家の派遣を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での緑化活動に関して、専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
緑化コーディネーターの養成	研修体系見直し					
人材バンクの設置・活用	設置			登録・活用		
専門家の派遣を支援						

評価シート

取組番号	28		
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
概要	緑化の技術・知識などを持った、地域活動の核となる人材を育成するとともに、庭園デザインの専門家などを各地域に派遣し、緑化活動を支援する。		
平成30年度の実績			
<p>○ 既存の緑化ボランティア研修の内容を一部見直し、行政や活動団体と連携を取りながら活動団体のマネジメント力を持つ人材を育成する緑化コーディネーター養成コースを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は26人が受講し、21人が修了した。 <p>○ 人材バンクの設置に向け登録者の要件を検討した。</p> <p>○ おもてなし空間の整備を図る市町等を支援するため、設計や植栽に関する専門家の活用に対して、助成を行った。(再掲)</p>			
今後の予定			
<p>○ 地域の緑化の活性化のため、活動団体のマネジメント力を持つ人材を育成する事業に継続して取り組む。</p> <p>○ 人材バンク登録者の要件を決定し、令和元年度内に人材バンクを設置する。</p>			
参考			
緑化コーディネーター養成講座			
			

管理指標

①花と緑を慈しむ文化の創造

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	短期目標値 (2021/H33)	担当
自然ふれあい施設における 自然体験プログラム実施回数	(2016年度) 159回	(2017年度) 149回	(2018年度) 190回	毎年度160回	環境 ふれあい課
豊かな暮らし空間創生 住宅地の区画数	(2016年度まで) 累計121区画	(2017年度まで) 累計239区画	(2018年度まで) 累計309区画	累計400区画	住まい づくり課
芝生が適切に維持管理された 園庭・校庭数	(2016年度まで) 累計4箇所	(2017年度まで) 累計8箇所	(2018年度まで) 累計10箇所	累計25箇所	環境 ふれあい課
グリーンバンクで支援している 緑化活動団体数	(2016年度) 195団体	(2017年度) 198団体	(2018年度) 193団体	200団体	環境 ふれあい課
複数の園庭・校庭に芝生を 導入している市町数	(2016年度) 16市町	(2017年度) 16市町	(2018年度) 16市町	(2027年度) 35市町	環境 ふれあい課
緑化コーディネーター、 芝生アドバイザー派遣箇所数	(2016年度) 41箇所	(2017年度) 34箇所	(2018年度) 42箇所	65箇所	環境 ふれあい課
緑化優良工場としての受賞件数	(2016年度まで) 累計71件	(2017年度まで) 累計75件	(2018年度まで) 累計79件	(2027年度) 累計80件	企業立地 推進課

②花と緑による地域の魅力向上

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	短期目標値 (2021/H33)	担当
おもてなし空間整備箇所数	—	—	4箇所	7箇所	環境 ふれあい課
静岡県さくらの会 ホームページアクセス数	(2016年度) 443,941回	(2017年度) 494,257回	(2018年度) 393,710回	毎年度 450,000回	環境 ふれあい課
全国花のまちづくりコンクール 受賞件数	(2016年度まで) 累計79件	(2017年度まで) 累計89件	(2018年度まで) 累計101件	累計195件	環境 ふれあい課
県主催花緑コンクールの 応募件数	(2016年度) 120件	(2017年度) 104件	(2018年度) 71件	120件	農芸 振興課
市町主催花緑コンクールの 応募件数	(2016年度) 661件	(2017年度) 656件	(2018年度) 724件	700件	環境 ふれあい課

③社会総がかりの緑化活動

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	短期目標値 (2021/H33)	担当
森づくり県民大作戦参加者数	(2016年度) 28,343人	(2017年度) 27,969人	(2018年度) 28,271人	毎年度 28,000人	環境 ふれあい課
ふじのくに美しく品格のある 邑づくり参画人数	(2016年度) 63,955人	(2017年度) 68,763人	(2018年度) 70,403人	80,000人	農地局
しずおか未来の森サポーター 企業数	(2016年度) 119社	(2017年度) 124社	(2018年度) 126社	136社	環境 ふれあい課
緑化コーディネーター 養成講座開催回数	—	—	3回	毎年度3回	環境 ふれあい課

